



令和5年3月1日  
目黒区立駒場保育園園長

保育園の玄関に飾ってある段飾りのお雛様とともに、3、4、5歳児の手作りお雛様が飾られ、年齢ごとの特徴やその子らしさが表れています。お雛様作りの活動の中で、好きな色を決めて塗ったり、折ったりすることや、どんな表情にするかなど自分で選択できる内容を取り入れています。日々の保育の中で子どもの年齢に合わせた自己選択や、自己決定の場面を作ってきました。自分で決められることは喜びであり、主体性が育ちます。後半の懇談会でもそんな話が出されました。各家庭にルールがありそれぞれに大切にしていることをお子さんに伝えたり、一緒に考えて決めたりと工夫されていることがわかりました。

先日のお迎え時のことです。お迎えが嬉しくてつい走りだしてしまった子どもに保護者の方が「歩いてね」と声をかけていました。“走らない”という禁止語ではなくやってほしいことを伝えていることに、心の中で拍手を送りました。子どもの気持ちを受け止めつつもできること（やっていいこと）とできないことを子どもにわかりやすく説明していくことも、私達大人の役割です。そういえば懇談会で、子どもに対して大人ができないことは言わないという意見もありました。子どもはだんだんと記憶力も育ち、大人の言ったことを覚えて楽しみにしています。それが今すぐのことではなくても、実現することが子どもを尊重することにつながると改めて思いました。

今年度も感染症対策を行いながら、子どもの育ちが豊かになるような経験や活動を、職員と確認しながら進めてまいりました。保護者の皆様にご理解とご協力いただき支えられて園運営できたことに心より感謝いたします。ありがとうございました。



卒園式 5歳児クラス  
お別れ遠足 3、4、5歳児クラス  
お別れ会 2、3、4、5歳児クラス  
保育室移動日（詳細は後日お伝えします）  
避難訓練（一中に避難します） 身体計測

### つぶやき

1歳児クラス  
保「あれ？ここ赤くなってるよ。」  
子「てんとう虫さされたの。」  
虫に刺されたと言いたかったのでしょうか。



3歳児クラス  
カマキリの卵の殻をみつけて  
保「カマキリいないみたいだね」  
子「どこにいったのかな」  
子「カマキリにも保育園があるのかな」

### 煙体験の様子

目黒区防災センターの方に保育園に来ていただき、4、5歳児が煙ハウス体験をしました。始めに、防災センターの方から、火事の際はハンカチやタオルで鼻と口を塞ぎ、ない時は洋服や帽子で塞ぐこと。煙は上に上るため姿勢を低くして、片手で、壁を触りながらゆっくり避難することを教えていただきました。保育士と一緒に4人ずつ順番に煙ハウスの中に入っていくと「うわー、真っ白」「前が見えない」という声が多く聞こえました。終了後に子どもたちに感想を聞くと、「怖かった」「前が見えなかった」と話していました。貴重な体験ができました。



## <一年間で成長した子どもたちの姿をお知らせします >

### 0歳児 ひよこぐみ

寝返りや這い這いをしていた子どもたちが自由に這い這いや歩けるようになったことで、行動範囲が広がり園庭や公園で探索を楽しむ姿が増えてきました。色々な物を見ては指を差したり、拾ったりして見えています。「ハトだね」と保育士が言葉にすると、「ぽっぽ」と表現しています。お友達の名前もそれらしく呼んでみたり「せんせー」と呼んでくれたり、物と名称が合ってくるようになりました。また、日々の中で少しずつ自分の気持ちを「あー」「やや」と簡単な言葉や仕草で主張しています。

### 2歳児 たんぽぽぐみ

園庭で遊び、そろそろ戻る時間です。保育士が「片付けよう」と声を掛けますが、まだ遊びたい様子。砂場にシートをかけようと「誰かタイヤを持ってきて」とお願いすると「わかった」と二人がタイヤを運んできてくれました。それを見て他の子どもがバスマットを片付けようと「誰か手伝って」と言うのです。数人が集まって片付け始めました。時々自分がやりたくて取り合う場面もありますが、全て片付き、お礼を伝えると嬉しそうな表情です。大人や友達のことを見て真似たり、助けようとしたりする姿に成長を感じました。

### 4歳児 すみれぐみ

中当ては大好きな集団遊びの一つです。内野チームと外野チームに分かれて、外野はボールを当てようと狙いを定めています。ボールを投げたくて転がってきたのを取り合うこともあります。まだ投げていない友達がいることに気付くと「いいよ」と譲っています。内野では当てられてしまい外に出ても「次がある」と気持ちを切り換え、残る友達を応援しています。勝敗では内野に残った子どもが多いチームが勝者となり勝ったチームは大喜びです。自分ひとりではなくチームで競い、みんなで楽しくゲームを進めようとしています。

### 1歳児 ちゅうりっぷぐみ

「おさんぽいこう」と保育士が声をかけると「〇〇ちゃん、いこう」と手招きしたり、なかなか来ない友達を待って、くるかなと気にかけていたりしています。靴を履いて散歩に行く準備が整うと友達の手をそっと取り表情を伺ったり「て、つなごう」と声をかけたりしています。手を取ってもらった子は嬉しそうに微笑み返し、繋がれた手を握り返していました。日々の中で少しずつ友達の存在が大きくなっていることを感じています。

### 3歳児 さくらぐみ

園庭に出ることを伝えると、友達に「お庭に行ったら太鼓橋で遊ぼう」と声られた子が「私はタイヤで遊びたい」と答えました。それを受けて「それなら、タイヤで遊んだ後一緒に太鼓橋で遊ばない」と聞きかえし、誘われた子は「うん、それならいいよ」と返事をし、言葉の通り一緒にタイヤ遊びの後、太鼓橋で遊んでいました。自分の思いを伝え、相手の思いを知る経験を繰り返してきたことで、お互いの思いを受け入れながらどうすればいいのかを考えています。そして何より友達と遊ぶことが楽しいと感じられるさくらぐみです。

### 5歳児 ひまわりぐみ

年長として様々な行動や活動を通して友達と協力したり、作り上げたりする中、自分たちで見通しをもって行動できるようになってきました。先日2チームに分かれてリレーをしていると「負けてばかりだからチーム替えしたい」「勝ちたいから替えたくない」と意見が分かれしました。みんなで気持ちを話し合い、それぞれの状況がわかると楽しくリレーをするためには、チーム替えをしようということになりました。自分たちで話し合っただけで決めて、遊びをすすめていく姿に成長を感じます。